

ルールブック

<スローピッチソフトボールとは>

『スローピッチソフトボール』とは、アメリカ発祥のスポーツで、文字通りピッチャーが山なりの遅い球しか投げられないソフトボールです。通常のソフトボールは、速いボールを投げ 競技性を重視しているのに対して、スローピッチソフトボールでは、誰でも打つ事ができて、誰でも楽しめるソフトボールです。

アメリカには、いくつかのスローピッチの団体があり、それぞれに公式ルールを定めています。日本には、ファーストピッチの公式ルールは存在しますが、スローピッチは、認知度が低く公式ルール及び全国規模の公式試合が存在しません。各地方の協会などで、スローピッチの大会を行う場合はその都度ルールを定めているのが現状のようです。

MSL では、アメリカの公式ルールおよび日本の他団体のルールを参考にしながらローカルルールを含めたルールを作っています。

<打者>

- ・バントおよびチョップヒッティング(いわゆる大根切り)は禁止。行った打者はアウト (ただし女性のみ大根切り OK)
- ・『ファウルアウト』→2 ストライク後のファウルは 3 ストライクとなり、打者はアウトになる
- ・フォアボールはあるが、デットボールはない (ただし女性のみデットボールあり)
- ・野手 10 人以外に、エキストラヒッター(EH: 打つだけの選手)を何人でも採用することができる

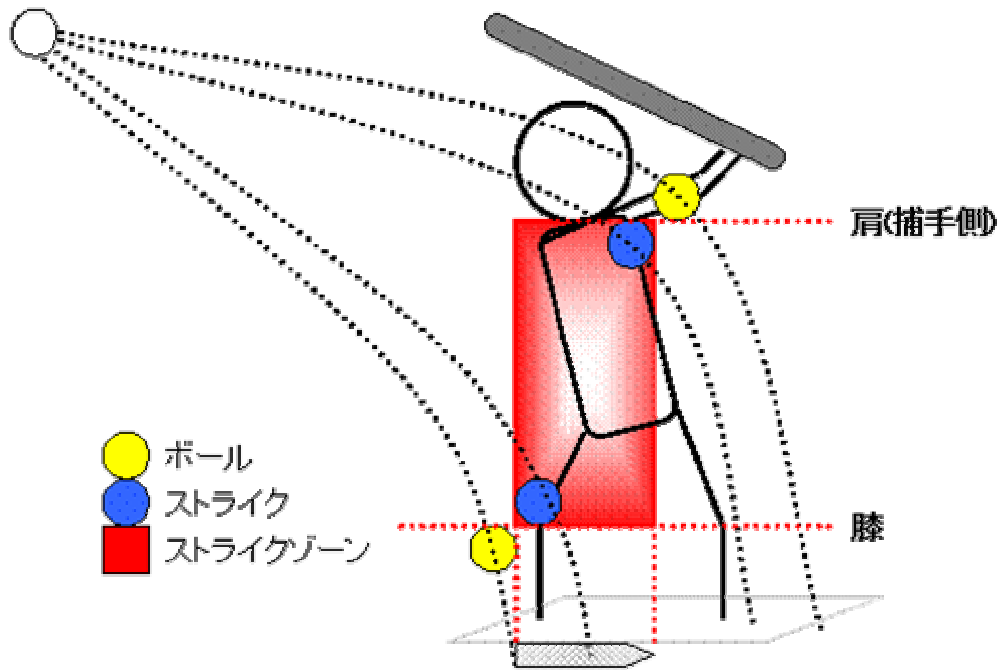
<走者>

- ・盗塁は禁止
- ・離塁は、投球がホームプレートを通るか、打者がボールを打つまでできない
- ・タッチアップは認められるが、ワイルドピッチ、パスボールによる進塁は認めない
- ・送球がそれた場合は、1 ベース進塁してもよい
- ・ボールがピッチャーに返球されたところでボールデットとなり、その後の進塁はできない
- ・『ダブルベース』→野手とランナーの接触事故を防ぐためにダブルベースを採用する。一塁ベースは、白色の部分(白色ベース)をフェア地域に、オレンジ色の部分(オレンジベース)をファウル地域に固定する。
打者はオレンジベースを走り抜け、守備者は白色ベースを使用する。いったん走者となり白色ベースに帰塁したあとは、従来通り白色ベースのみを使用する

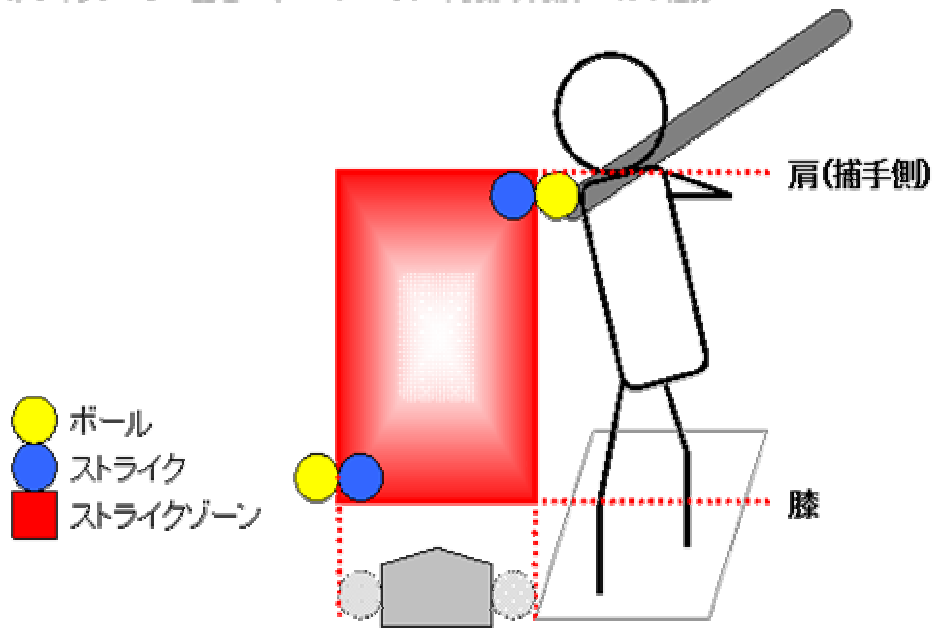
<投手>

- ・山なりの遅いボールを投げなければならない。ボークはとらない
- ・ボールの通る頂点は、地面から約 1.5m以上 3.0m以下でなければならない。頂点が 1.5m以下のままストライクゾーンに入っても『イリーガルピッチ(不正投球)』として「ボール」とする
- ・『イリーガルピッチ』を打者が打った場合は、プレイの結果を生かす
- ・ストライクゾーンは、打者が自然な打撃スタンスをとっているとき、高低が肩(捕手側)から膝下まで、左右はホームベース+内側・外側ボール1個分のベース上の空間とする。この空間を通過した投球(ボールの一部分がかすめればよい)を打者が打たなかった場合、ストライクが宣告される
- ・宣告は主審が行い、審判の指示に従わないピッチャーは退場となり、打者は進塁できる。スローピッチの投球は、ストライクゾーンを上から下に通過するため、野球のようにキャッチャーの真後ろではなく、右打者の場合はキャッチャーの右斜め後ろに立つことで判定しやすくなる
- ・投球前の構えは、軸足だけがプレートについていればよい。敬遠するときは、審判にその旨を伝えればよい

<ストライクゾーン 高低=肩(捕手側)から膝までのホームベース上の空間>



<ストライクゾーン 左右=ホームベース+内側・外側ボール1個分>



<守備>

- ・10人で守備をする。10人目の野手を『ショートフィルダー(SF)』といい、フェア地域のどこを守ってもよい
- ・キャッチャーは、投球を必ずピッチャーに返さなければならない

<試合進行>

- ・3号(12インチ)革巻ボール、それに伴い専用バットとする
- ・すべての選手は帽子を着用、捕手はマスクを着用すること
- ・試合中の選手交代は自由であり、代打を出された選手も再びプレーできるが、打順は前回と同じとする
- ・試合は、7イニングで行い、延長は10イニングまでとする
- ・コールドゲームは基本的になし

<ローカルルール>

・ファールボールが MSL 関係者以外の車に当たり破損させた場合、その試合を没収試合とし、その打者のチームは負けとする。損害に対してはそのチーム全プレイヤーが負担する。ただしサード側の球場専用駐車場の車については適用外とする

・ピッチャーの投球が手を離れるまで、野手はフェア地域の外に出てはならない

・フェアゾーンでバウンドした後、ホームランゾーンに達した場合は2塁まで進塁できる

・『ホームラン・木(モク)キャッチ』

→外野ホームランゾーンの中で野手が捕球すれば『ホームランキャッチ』でアウトとなり、木などの障害物及びバックネットに当たったボールを地面に落ちる前に捕球すれば『木キャッチ』でアウトとなる

・『レンタル規定』

→人数不足時の試合開催の基準について、可能な限り自軍で戦うとともにできるだけ公平な試合結果とするため、以下のレンタル規定を設ける

●選手数 10 人以上 通常通り

●選手数 9 人 SF(ショートフィルダー)抜きで試合を行う

●選手数 8 人 守備時のみ休憩チームから1人借りる。不在となる9番打者を自動アウトとする

●選手数 7 人 守備時のみ休憩チームから2人借りる。不在となる8・9番打者を自動アウトとする

●選手数 6 人 守備時のみ休憩チームから3人借りる。不在となる7・8・9番打者を自動アウトとする。ただし、7番から始まる回の場合のみ2アウトからの開始とし1アウトは次回に繰り越す

●選手数5名以下は棄権とする

・レンタル選手のポジション制限はなし。レンタル選手は各チームからジャンケン等により選出し、試合途中で交代できるものとする

・各チーム登録選手以外のその試合限りの助っ人(急遽お願いした“友人等のつて”)の記録はチーム記録には残すが、参考記録とし、MSL表彰の対象とはしない。ただしMSL規定試合数に達した場合は除く

・『ノーアウトカウント・ルール』

・1人目の女性選手(打順最上位の女性選手)は、対象外とする

・2人目以降の女性選手(以下②選手)に対し、以下の救済ルールを設ける

・凡打してもアウトカウントをとらない。ただし出塁はできない

・個人成績は、結果通り記載する

・②選手のゴロやフライによる、走者の進塁は認められる

・走者ありの場合、走者アウト(フォースアウトやタッチアウト)はアウトカウントされる

例 1) 走者なしで、打者が②選手。ピッチャーゴロでアウトとなるが、『ノーアウトカウントルール』でノーアウト走者なしから試合再開。

打者成績はピッチャーゴロ

例 2) ノーアウト走者一塁で、打者が②選手。ショートゴロで6-4の走者フォースアウト。『ノーアウトカウントルール』で1アウト走者一塁から試合再開。打者成績はショートゴロ

例 3) ノーアウト走者一塁で、打者が②選手。ショートゴロで6-4-3のダブルプレー。『ノーアウトカウントルール』で、カウントされるのは走者フォースアウトの1アウトのみ。1アウト走者なしから試合再開。打者成績はショートゴロ